## (2) 係活動

①係活動ってなあに？

学級の児童が学級内の仕事を分担処理するために，自分たちで話し合って係の組織をつくり，全員でいくつかの係に分かれて自主的に行う活動であり，児童の力で学級生活を豊かにすることをねらいとしている。

係の種類や数は，児童が創意工夫し計画活動できるよう適切に指導する。

②発達段階に即した指導のめやす

| | |
|---|---|
| 低学年 | 仲良く助け合い学級活動を楽しくする。 |
| | ● 当番的な活動から始め少しずつ創意工夫できる係の活動を見付けられるようにする。<br>● 少人数で構成された係で仲良く助け合って活動し，学級生活を楽しくできるようにする。 |
| 中学年 | 協力し合って楽しい学級生活をつくる。 |
| | ● 様々な活動を整理統合して児童の創意工夫が生かせるような係活動を組織できるようにし，協力し合って楽しい学級生活がつくれるようにする。<br>● 朝や帰りの時間などを生かして，積極的に取り組めるようにする。 |
| 高学年 | 信頼し支え合って楽しく豊かな学級生活や学校をつくる。 |
| | ● 自分のよさを積極的に生かせる係に所属し，継続的に活動できるようにする。<br>● 高学年としてふさわしい創意工夫のできる活動に重点化するなどして，信頼し支え合って，楽しく豊かな学級や学校の生活をつくることができるようにする。 |

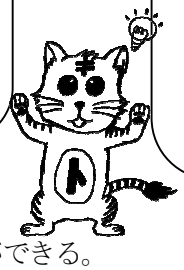
③係活動と当番活動のちがいは・・・

係活動

なくても困らないが，あれば学級生活が楽しくなったり便利になったりする活動（創意工夫を生かすことができる活動）

当番活動

（日直，清掃当番，給食当番など）学級生活を維持していく上で必要不可欠な活動。集団生活を送る上で学級全員が分担していかなければならない活動。※教科の係は当番活動として行うことが望ましい。



★係活動のよさとは・・・

- 自己有用感や自己存在感をもたせることができる。
- 所属感や一体感をもたせることができる。
- お互いの友情を育み，仲間意識を育てることができる。

国語係などを作っている学級もありますが，創意工夫ができるなら係活動とも言えますね。教科の準備や片付けだけなら当番活動です。

④係活動はこうやって進めよう♪

ア　係を編成しよう

○　学級にどんな係があればよいか話し合う。

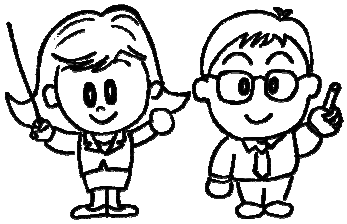
○　望ましい集団活動をねらいとしているので全員でいくつかの係に分かれる方が望ましい。

今までに経験した係活動を出させたり望ましい係活動例を提示したりすることも大切です。

一人きりの係は，望ましいものではありません。複数の成員で構成しましょう。

低学年は当番活動として一人一役で活動することもありますが，その場合，工夫やアイデアを生かすことができるように助言しましょう。また，それをしっかり認めて，今後の係活動につなげていきましょう。

最近，○○会社などの会社方式を取り入れた係活動もみられます。望ましい集団活動というねらいにはそぐわない面もでてくるので，会社方式による係活動は，十分考えて取り組んでいきましょう。

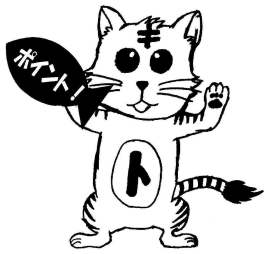


イ　楽しいネーミングを考えよう

○　活動内容は同じでも，おもしろいネーミングにすることで，子どもたちのやる気がアップすることもある。自分たちの活動への思いも感じることができる。

《ポイント》
- 自分たちだけのオリジナルな名前をつけよう。
- 名前から係の仕事の内容が分かるような名前にしよう

新聞係→みんなにお知らせ係
スポーツ係→めざせオリンピック係
遊び係→なかよしタイム係　　など




ウ　活動計画を立てよう

○　係の名前・メンバー・活動のめあて・活動計画（「いつ」「どこで」「だれが」「何をする」など）の内容を画用紙などに記入し，学級全員に伝えるようにする。

係活動コーナー

係活動計画表

○○○○○係
メンバー
めあて
□月・・クイズをする。
△月・・ゲームをする。

など

エ　積極的に活動をしよう

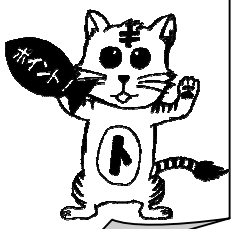
○　時間の確保をする。

○　小集団なので，いろいろな時間を有効に使って積極的に活動に取り組む。

《教師のポイント》

・　係の活動（相談・作業・準備・連絡・発表など）を十分に行うことができるよう時間の有効な活用について知らせる。

朝や帰りの会・朝の活動・給食の時間・学級活動の時間・休み時間　など




・　子どもたちの負担にならないような時間の取り方を考える。

・　週に一度程度係のグループで一緒に給食を食べると，相談の時間にもなってよい。

・　年間２時間程度であれば，学級活動の時間を，係活動にあてることもよい。

○　環境を整える。

○　係活動コーナーの設置をする。

係活動コーナーに，係がいつでも自由に使える掲示スペースを用意し，活動の連絡記録などができるようにする。

○　文房具類などの準備をする。

子どもたちが自由に使えるペンマジック・はさみ・のり・セロテープ・紙類などを用意する。

○　集会のアイデアや工作ブック・ゲーム集もそろえる。

○　余裕があれば係ごとに作業スペース（児童用机１から２個）を用意するとよい。

○　金銭を使ったり家庭からの物品を持ってきたりする活動は望ましくない。事前に教師に相談するよう助言する。

子どもが自由に使うことができる文房具コーナー

オ　活動のふり返りをしよう

○係発表会をする

学期の終わりや，活動があまり進まない時には，朝や帰りの会を使ってこれまでの活動の様子を発表する機会を設ける。

○互いに認め合う場をつくる

学級のみんなから認められた満足感が次の活動意欲へとつながる。高学年では，学級会の議題として係の反省を取り上げるのもよい。賞状やメダルを贈り合うことも係活動が活性化することにつながる。

４月当初に，学級のみんなで話し合って決めた学級目標とリンクさせてふり返ることも大切です。時々によって，子どもたちの意識をしっかり賞賛し，みとり，認めるような言葉がけをすることがとても大切ですね。

⑤ 具体的な活動例と進め方

ア　低学年：おしごと見つけから

低学年では，係活動とは少し意味が異なる活動として，教師の補助的な活動をする場合があります。例えば，学習用具の準備，配布，整理，各種の調べものなどの活動があり，児童の発達段階から係として位置づけることあります。日常生活の中から，必要な係を発見させていきましょう。

本かかり・ゆうびんかかり・花かかり・生きものかかり・電気かかり　など

日常生活の中から，工夫させながら必要な係について考えさせ，中学年につなげていきましょう。

イ　中学年：やってみたいことをやってみよう‼

○　自分の得意なことで，みんなが楽しめそうなことをやってみる。

| | |
|---|---|
| みんなにお知らせ係 | ニュースや出来事などを新聞に書いて，みんなに知らせる。 |
| ハッピーバースデー係 | お誕生日にお祝いメッセージを書いたり，歌を歌ったりして，お祝いする。 |
| 歌係 | 朝の会などで歌う歌を決め，歌詞カードなどを作り，みんなをリードして歌う。 |
| クイズ・なぞなぞ係 | 帰りの会などで，みんなにクイズやなぞなぞの問題を出す。 |
| 遊び係 | 定期的（毎週１回程度休み時間に）学級全体であそぶ内容を考える。だれもが楽しく参加できるようにルールを工夫する。 |
| かざり係 | 季節の行事や，学級の歩みを画用紙や折り紙などを使って飾る。教室内の壁面を子どもたちが作った楽しい空間になるようにする。 |

教師もできるだけ参加して楽しみましょう。

ウ　高学年：今までの経験を生かして

○　今までの経験を生かし，活動を工夫していく。

| | |
|---|---|
| 学級歴史係 | 学級での毎日の様々な出来事の記録を残す係。 |
| ギネス係 | 学級のあらゆる記録を調査，集計し，記録にまとめて発表する係。いろいろなランキングと記録集（ギネスブック）を作る。 |
| かん境係 | 学級内でのリサイクル活動をして，学級で役立つ道具を作る係。 |

これは，一例です。

（３）　集会活動

①集会活動ってなあに？

| |
|---|
| 集会活動は，学級生活を一層楽しく充実・向上させるために，学級の全児童が集まって行う活動である。学期ごとなどに学級会において話し合って創意工夫して計画し，自主的に運営するため，児童の発達の段階に応じて適切に指導することが必要となる。 |

《集会活動の種類》

| 種　類 | 例 |
|---|---|
| 文化的な集会 | お話集会・昔の遊び集会・音楽集会・○組展覧会<br>思い出発表会 |
| スポーツ的集会 | ドッジボール大会・サッカー大会・竹馬大会<br>大縄集会・室内オリンピック大会 |
| 季節や行事ににになんだ集会 | １／２成人式・お正月カルタとり大会・たこあげ集会 |
| レクリエーション集会 | お楽しみ会・クイズ大会・ゲーム集会 |
| 交流集会 | ＡＬＴの先生と仲良くなろう集会<br>○○先生とのお別れ集会 |

②発達段階に即した指導のめやす

| | |
|---|---|
| 低学年 | 仲良く助け合い学級活動を楽しくする |
| | ● 入門期には教師が主導して楽しい集会活動を多く経験できるようにする。<br>● 児童が集会の内容を選択し，簡単な役割や準備をみんなで分担して，誰とでも仲良く集会活動を楽しむことができるようにする。 |
| 中学年 | 協力し合って楽しい学級生活をつくる |
| | ● 集会活動の経験を生かし，ねらいを明確にして，創意工夫を加え，より多様な集会活動に取り組めるようにする。<br>● 計画や運営，準備などにおける役割を，より多くの児童が分担し，協力し合って楽しい集会活動をつくることができるようにする。 |
| 高学年 | 信頼し合って楽しく豊かな学級や学校の生活をつくる |
| | ● 児童会活動やクラブ活動の経験を生かして，学級生活を楽しく豊かにするための活動に取り組めるようにする。<br>● 話合い活動によって，互いのよさを生かしたり，反省を生かしたりして，信頼し支え合って創意工夫のある集会活動をつくることができるようにする。 |

③集会活動のポイント

○　できばえより課程を重視！

○　失敗した経験を次に生かせるような言葉がけを！

○　教師もともに楽しみましょう！

集会の回数については，年度当初に，学期に１～２回くらいと指導し，年間計画を立てておくとよいでしょう。

年間計画を立てるには，いつ，どんな集会をしたいかをみんなにアンケート調査し,集計したものをもとに話し合うのもいいですね。

いくつかの種類の集会を計画して，子どもたちにいろいろな経験をさせてあげましょう。

日時・所要時間・場所などは，学校行事や教科の時間のことも考えて教師が決めておきましょう。

話し合うときには，何のための集会なのかをしっかり考えさせ，目的意識をもって，ねらいに合った内容が盛りこめるようにさせましょう。

実践後，子どもたちが日記に書いたり，帰りの会の時に発表したりすることで，次の活動への意欲づけになるような振り返りの時間を大切にしましょう。

③　集会活動の事例

ア　活動名「もっと仲良くなるぞ！リレー大会をしよう」

「クラスがもっと仲良くなるために」という提案理由から，みんなが協力して楽しめる「リレー大会」をしようということになった。

| | |
|---|---|
| １　はじめの言葉<br>２　種目<br>３　結果発表<br>４　メダル・賞状渡し<br>５　先生のお話<br>６　おわりの言葉 | ・みんが楽しめるリレーとして今回は「馬跳びリレー」と「おはじきつかみリレー」をした。<br>・事前に約束事を決めておくが，活動中は温かく見守る。<br>・各係の仕事をねぎらい，みんなが仲良く助け合えたから成功できたことを称賛することで，次の活動への意欲づけにつながる。 |

イ　活動名「ありがとう感謝祭をしよう」

卒業を控え、今までお世話になった先生方を招待して，６年間の感謝の気持ちを伝えようということで「ありがとう感謝祭」をすることになった。

| | |
|---|---|
| １　はじめのあいさつ<br>２　６年間の思い出<br>３　マル秘サプライズ<br>４　合奏<br>・つばさをください<br>５　おわりのあいさつ | ・１～６年までの思い出を劇にして，発表した。<br>・事前にお世話になった先生方への感謝状を制作しておき，一人一人に手渡した。 |